

(様式3)

事業所名 グループホームほのぼの

目標達成計画

作成日: 平成 25年 3 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「切迫性、代替性、一時的」この3つの要件が満たされているか十分な検討のもとに行う場合の記録、同意、その後の経過記録等の整備を期待する	やむを得ず拘束する場合の検討内容や記録の整備を行い保管する	カンファレンスにてなぜ必要か、他に対応はないか、いつまでと詳しい話をし記録を残します	3ヶ月
2	26	初期アセスメントから日常生活の中での補完、心理面を取り入れたツール等、記録の整備、ファイリングの工夫が必要	日常生活の中から特に心理面のアセスメントをしっかりと行い、介護計画に結びつける	アセスメントシートの変更にて、ADL、精神面、要望等詳しく記入出来るものを使用し、介護計画の作成に結びつける	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。